

様式 8

「川づくり団体」部門

河川基金助成事業

「多摩市水辺の楽校」

報告書

助成番号：2018 - 6112 - 009

多摩市水辺の楽校運営協議会

会長 西 厚

平成 30 年度

1. 事業の内容

1.1 《活動目的》

「多摩市水辺の楽校」は登録10年目を迎え、活動計画の参加人員もイベントを重ねる毎に増えている。

多摩川・大栗川・乞田川を拠点とした活動は自然環境の中で子どもたちの自然体験や世代を超えた市民との交流を図り、生きものの観察（野鳥・魚・植物・昆虫等）や調査を通じて実態を知り川の環境保全の重要性を理解推進する。

また、合流点付近の環境は素晴らしく多摩川の流れと眺望もよく、小学校の総合的学習時間の支援要請で「川の生きもの調査・観察」の子どもたちへの河川環境の意識づくりに努めている。

1.2 《活動内容》

毎月第2火曜日に定例会を開催し①事業のイベント企画 ②助成金を含む予算の運用計画 ③前月実績と今後の活動計画 ④総合的学習の時間協力日等協議決定している。イベント実施に当たっては水辺の楽校運営協議会が講師を務め、必要に応じて民間技能者や他の団体のボランティアの協力を得ている。

日頃、川に接する機会が少ない子どもたちや保護者、また多くの市民へ多摩川の自然の素晴らしさを知ってもらうとともに、川の接し方・注意点・安全教育含めた内容のイベントを行い、周知している。開催にあたっての募集内容は市の広報で行い、イベント毎のチラシも作成し小・中学生への関心深めるよう努めている。

1.3 《主な活動状況》

1.3.1 【4月21日(土) 楽校式(兼総会)】 グリーンライブセンター 出席:16名

・前年度活動報告(実績映像見て) ・本年度活動計画(案)承認 ・河川基金助成金決算報告 ・その他の報告

1.3.2 【6月3日(日) 川の生きもの調査・観察会】 場所:交通公園 対象:市民(主に子供向け)参加者55名 スタッフ25名

子ども・保護者共参加者全員ライフジャケット着用し、河原の植物観察、草つきでガサガサ体験。体験ではオイカワ・アブラハヤ・シマドジョウ・ナマズの子ども・ヨシノボリ等みられた。

水槽入れて獲れた魚の解説や、川ゴミの解説を専門家からいただいた。

1.3.3 【6月3日(日) 全国一斉水質調査】 スタッフ:5名

多摩市の一級河川多摩川3地点、大栗川3地点、乞田川2地点の合計8ポイントで気温・水温を測定後、取水しCODなど各試料持参、交通公園にて測定

1.3.4 【6月16日(土)17日(日)多摩川カヌー体験教室】 場所:一ノ宮公園

16日(土)は雨天中止 17日(日)のみ実施 対象:小・中学生 参加者:80名 スタッフ:12名 応募者は年々増え抽選となるが、安全管理上これ以上募集がかけられない状況。

ライフジャケット着用後、漕ぎ方の説明を受け、カヌー10艇とEボート2艇にて 各1時間、班ごとに乗艇。

保護者も岸边から声をかけたり、ビデオ撮影をしたりと賑やかで楽しい半日を過ごしていた。

今年もロンドンオリンピック日本代表 海淵 萌選手にゲストとして参加してもらい、模範演技を披露していただいた。

6/16中止に伴い、当選者から残念との声を多くいただいた。そのため、急遽代替日を設定し9/8に実施する予定であったが、多摩川上流域での降雨の影響で、ダムが放水しており増水のため危険と判断。9/8も中止となった。

1.3.5【7月16日(月)海の日 大栗川水辺まつり】場所:東寺方小前大栗川 対象:中学生以下 参加者:52名 スタッフ:34名

天候快晴で暑い日となり、水分補給に注意しながら実施。川流れ、ガサガサ、ゴミ拾い、ポリタンクで作成した筏に乗り、親子3人や子ども同士で川を楽しんだ。

海洋生物に与える影響を伝えるパネル展示や、マイクロプラスチックについての説明も行った。

ライフジャケット・胴長・網・幟旗・テーブル等河川基金からの助成金で購入した品をここでも活用させていただいた。

1.3.6【7月27日(金)28日(土)29日(日)多摩川源流体験サマーキャンプ】2泊3日の予定を1泊2日に変更 対象:小学3年~中学生 参加者:9名 スタッフ:7名

宿泊:寺子屋自然塾 場所:山梨県小菅村・丹波山村

当初2泊3日の予定で計画していたが、台風12号が28日(日)に関東直撃の可能性ありとの情報。交通機関がストップする可能性や山登りも危険と判断し、1日短縮し7月27日~28日の1泊2日にて実施。

1日目の小菅川沢登りは予定通り行い、2日目のバーベキュー・花火・スイカ割りは全て前倒しで実施。残念だが2日目の登山と3日目に予定していたニジマスつかみ取りは中止となった。

聖蹟桜ヶ丘駅で解散と同時に風雨が強くなり、その後JR中央線も終日運休となる。また、宿泊先であった小菅村にも全村避難勧告が出された。安全を第一に考え、適切に計画変更をし、事故なく実施することができた。

1.3.7【8月26日(日) 乞田川の恵み(川の生きもの観察会)】場所:乞田川ふれあい橋付近対象:市民(主に子供向け)参加者40名 スタッフ18名

全員ライフジャケット装着し、上流の上之根橋迄までガサガサを行う。獲れる魚の種類は少なく小さい個体が多い。直線的な都市特有の河川のため雨に流されたか?ガサガサ体験後、子どもたちは川流れで楽しんだ。その後、講師から獲れた魚の解説を聞いた。

1.3.8【4月28日(土)・9月24日(祝)・11月17日(土)一ノ宮用水路生きもの調査・観察】場所:一ノ宮用水路 程久保川からの分水した水路 参加者:各回10~15名

唯一、多摩市の田んぼの取水している水路を改修するにあたって、三面張りのコンクリートでなく、一面は木製の杭で仕上げ、橋の下に冬場留まる深場を作って生きものの変化を定期的に調査観察することが目的。

1.3.9【夏鳥7月1日(日)・冬鳥2月3日(日)観察会】場所:大栗川霞ヶ関橋・大栗橋・向ノ岡橋・報恩橋・交通公園のルート

関戸橋架け替え工事で、多摩川の様相が変わって殆どの鳥は関戸橋付近から離れ、大栗川合流点付近か関戸橋の上流四谷橋付近と下流域へ移動している。

1.3.10【総合的学習時間の支援】

多摩市の一級河川多摩川・大栗川・乞田川に比較的近い小学校では「川の生きもの調査・観察」の活動場所として素晴らしい環境にあり繰り返し使われる。活動は春から秋までの5月~10月の期間で行っており、川の生きものや河原の植物の生態を知ることができる。

参加者は延べ2300名以上

対象校:多摩第一小・連光寺小⇒多摩川 多摩第二小・東寺方小⇒大栗川

多摩第三小・永山小⇒乞田川 と現状活用している。

フィールドスコープ・ライフジャケット・丸網・水槽・胴長等の河川基金助成金での調達備品は繰り返し使用し活用させていただいている。

図 1.3.1. 楽校式(兼総会)



図 1.3.2 水辺の生きもの観察



図 1.3.3 全国一斉水質調査



図 1.3.4 多摩川カヌー体験教室



ロンドンオリンピック日本代表 海淵 萌 選手の模範演技



図 1.3.5 大栗川水辺まつり



図 1.3.6 多摩川源流体験サマーキャンプ





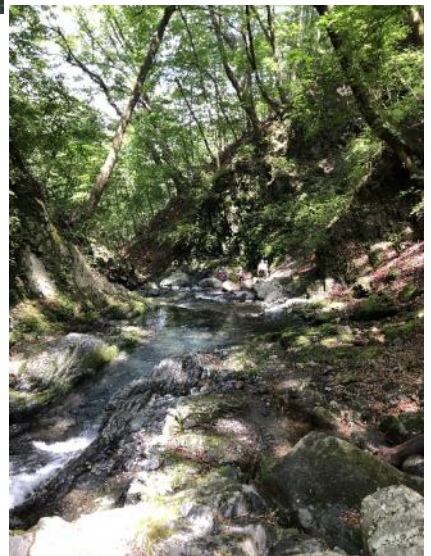






図 1.3.7 乞田川の恵み



図 1.3.8 一ノ官用水路の生きもの調査観察



図 1.3.9 夏鳥観察会／冬鳥観察会

夏鳥



様式 1 1

2. 川づくり団体部門

[実施箇所位置図]

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名		
2018-6112-009	多摩市水辺の楽校	多摩市水辺の楽校運営協議会 会長 西 厚		
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所	多摩川・大栗川		
	<p>※活動を数カ所で実施している場合は、代表的な箇所を1カ所程度記載してください。</p> 			
河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景(カヌー教室)	近景(カヌー教室チラシ)		
				
延べ参加人数	一 般	2500 名	スタッフ・事務局	100 名
マスコミ等の反響	多摩テレビ、タウンニュース等			